

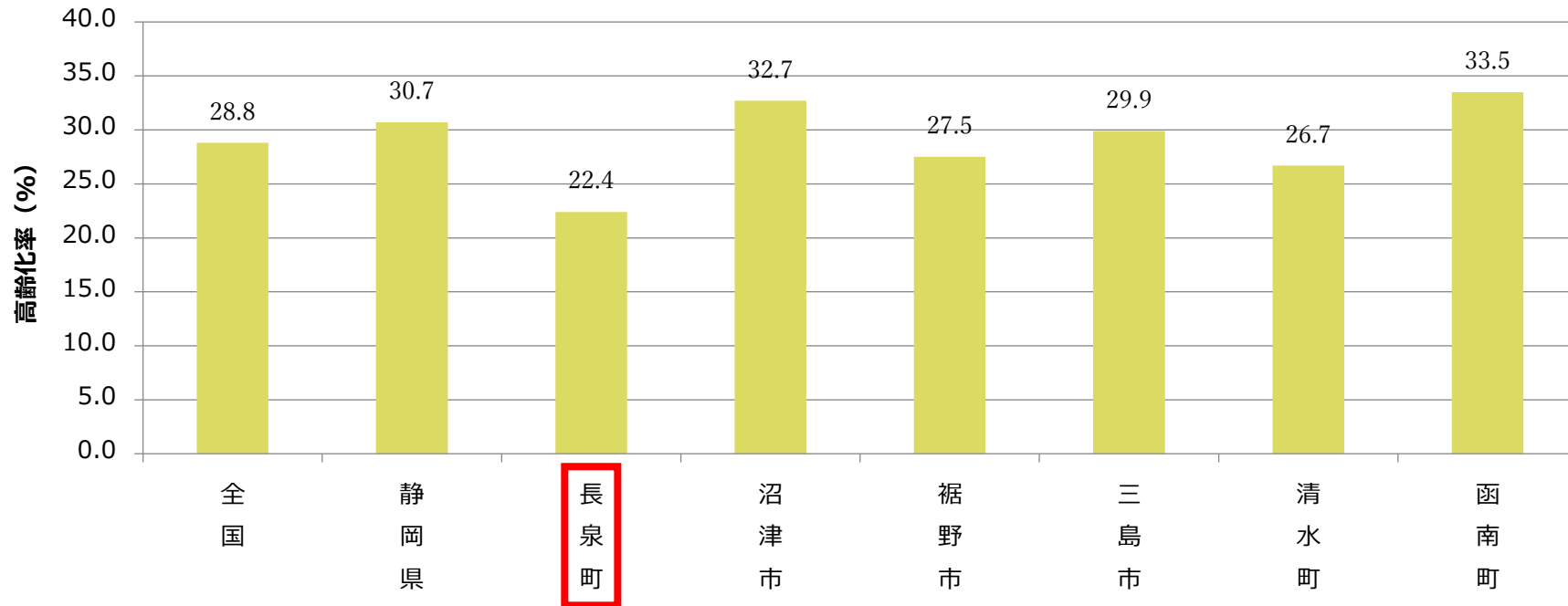
長泉町の介護保険事業の特徴について

～地域包括ケア「見える化」システムを活用した地域分析～

2023年9月

厚生労働省の地域包括ケア「見える化」システムとは、県や市町における介護保険事業計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムで、介護保険に関する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されるものです。今回、このシステムを活用して、長泉町と全国・県・近隣市町（沼津市、裾野市、三島市、清水町、函南町）の平均値との比較や経年変化の分析を行いつつ、当町の介護保険事業の特徴の把握と要因分析を行いました。

高齢化率（令和4年(2022年)）

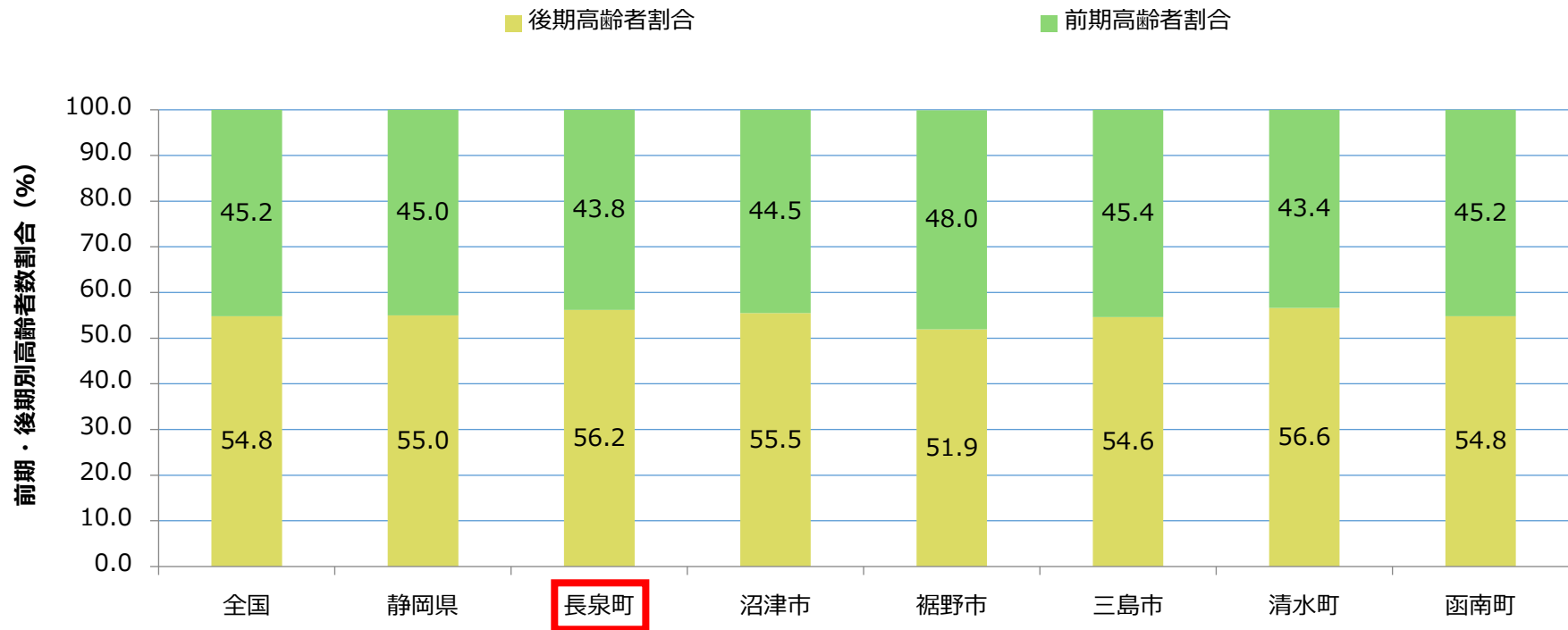


(時点) 令和4年(2022年)

(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

「高齢化率」は、総人口に占める65歳以上の人口の割合を意味します。静岡県は全国平均に比べ、高齢化率が高くなっています。長泉町は11年連続県内で一番低い高齢化率を維持しており、令和5年8月1日現在、高齢化率は22.47%、後期高齢化率（総人口に占める75歳以上の人口の割合）は12.57%となっています。近隣市町と比較しても、沼津市、函南町は高齢化率が30%を超えており、長泉町と10ポイント以上の差があります。高齢化率は年々増加傾向であり、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、医療・介護・介護予防・住まいおよび生活支援が切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの益々の推進に取り組むことが重要であると言えます。

前期・後期別高齢者数割合（令和4年(2022年)）

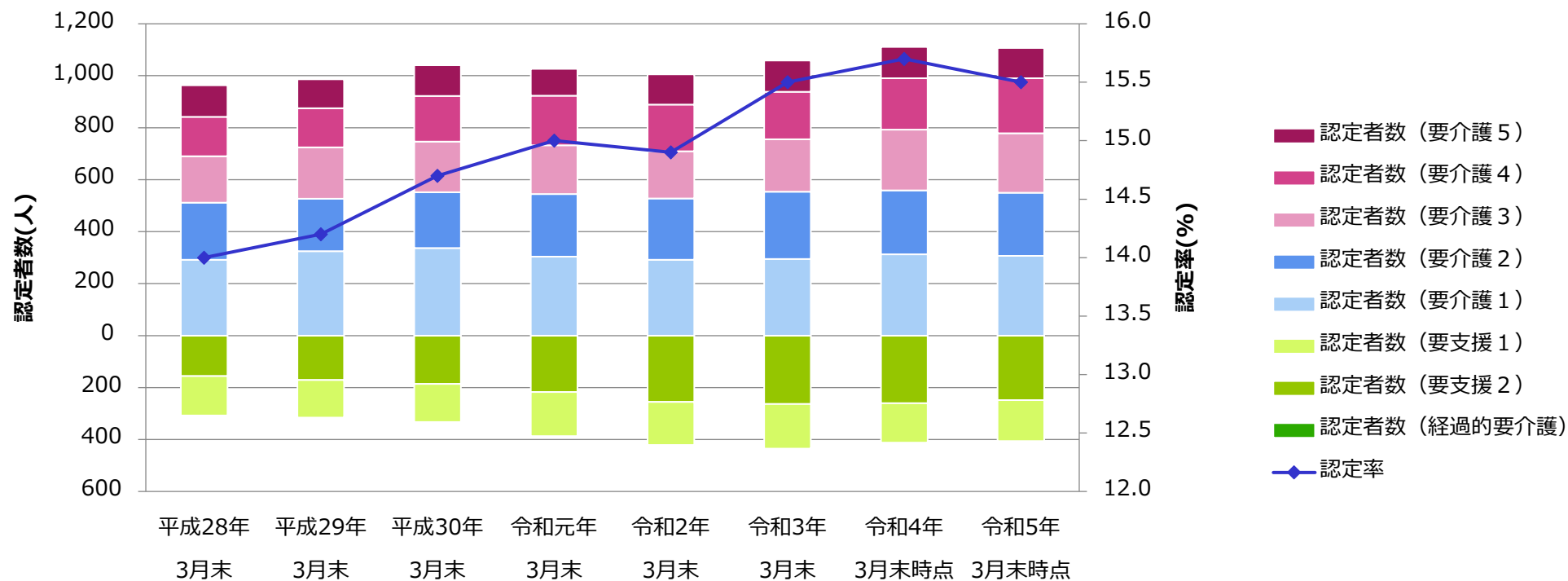


(時点) 令和4年(2022年)

(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

「前期高齢者数」は、65歳以上75歳未満の人口、「後期高齢者数」は75歳以上の人口を意味します。長泉町は、65歳以上の人口に占める後期高齢者の割合が近隣市町で清水町に次いで高く、全国・県と比べても高くなっています。要介護状態となるリスクが高い後期高齢者の割合は認定率にも影響することが考えられます。なお、総人口に占める後期高齢者の割合である「後期高齢化率」は12.5%であり、県内では袋井市に次いで二番目に低い割合です。

長泉町の要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移



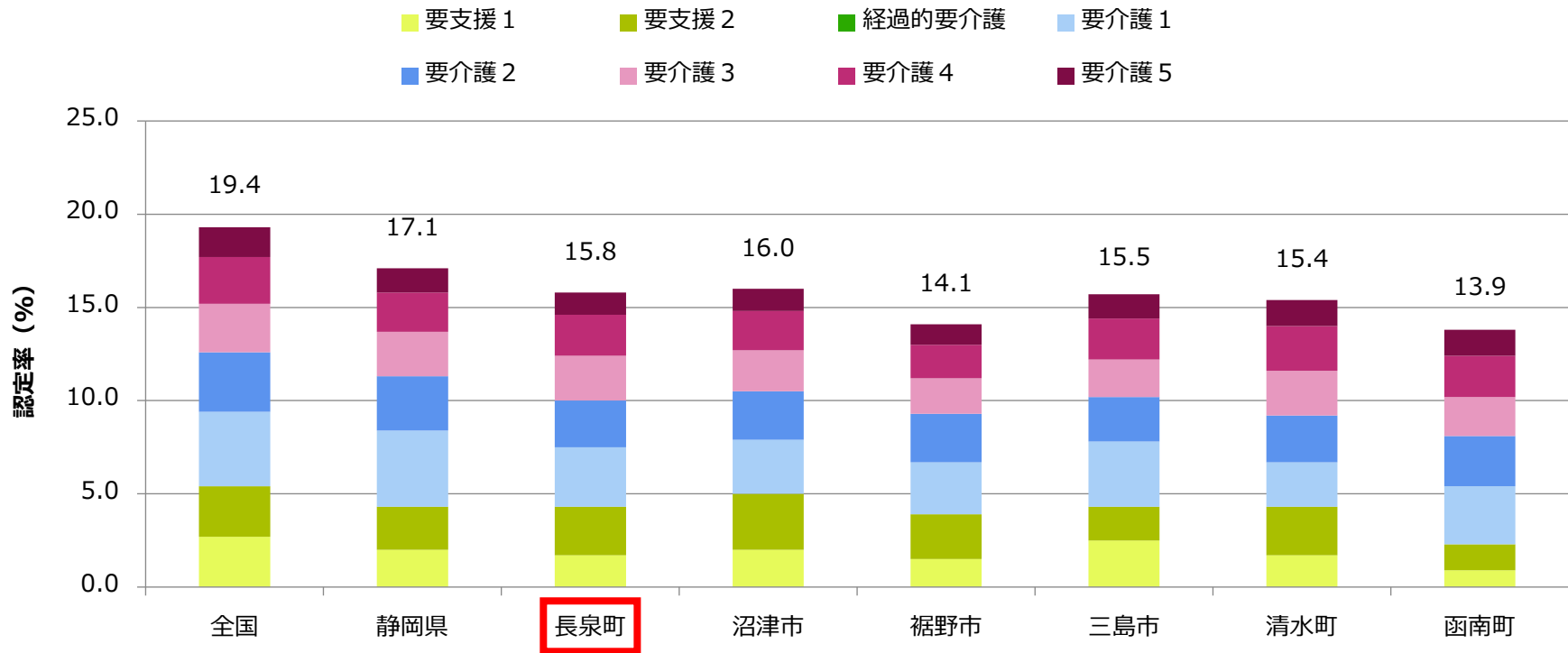
(出典) 平成27年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、

令和3年度から令和4年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」、令和5年度：直近の「介護保険事業状況報告（月報）」

「要介護（要支援）認定率」は、要支援・要介護認定者の人数を、第1号被保険者（65歳以上の被保険者）で除した値です。長泉町の認定者数は増加傾向にあり、令和5年3月末時点での認定率は15.5%となっています。認定者数の内訳を見ると、各介護度の割合に大きな変化は見られません。長泉町では平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業を開始し、介護予防の取組として事業対象者・要支援1・2の方を対象に柔軟なサービスの提供ができるよう推進しています。認定者数を減少させるため、今後も総合事業の普及に向けて取り組んでいく必要があります。

		平成 28 年 3 月末	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	令和元年 3 月末	令和 2 年 3 月末	令和 3 年 3 月末	令和 4 年 3 月末時点	令和 5 年 3 月末時点
認定者数	(人)	1,271	1,302	1,374	1,414	1,426	1,494	1,523	1,513
認定者数（要支援 1）	(人)	152	145	147	170	166	172	152	158
認定者数（要支援 2）	(人)	156	171	186	217	255	263	260	248
認定者数（経過的要介護）	(人)	0	0	0	0	0	0	0	0
認定者数（要介護 1）	(人)	292	325	337	304	292	295	313	307
認定者数（要介護 2）	(人)	220	202	215	241	236	259	246	243
認定者数（要介護 3）	(人)	178	197	194	187	181	202	234	229
認定者数（要介護 4）	(人)	152	151	176	191	180	182	197	211
認定者数（要介護 5）	(人)	121	111	119	104	116	121	121	117
認定率	(%)	14.0	14.2	14.7	15.0	14.9	15.5	15.7	15.5
認定率（静岡県）	(%)	15.5	15.5	15.6	16.0	16.1	16.4	16.6	16.7
認定率（全国）	(%)	17.9	18.0	18.0	18.3	18.4	18.7	18.9	19.0
<p>（出典）平成 27 年度から令和 2 年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、 令和 3 年度から令和 4 年度：「介護保険事業状況報告（3 月月報）」、令和 5 年度：直近の「介護保険事業状況報告（月報）」</p>									

認定率（要介護度別）※第2号被保険者を含む（令和4年(2022年)）

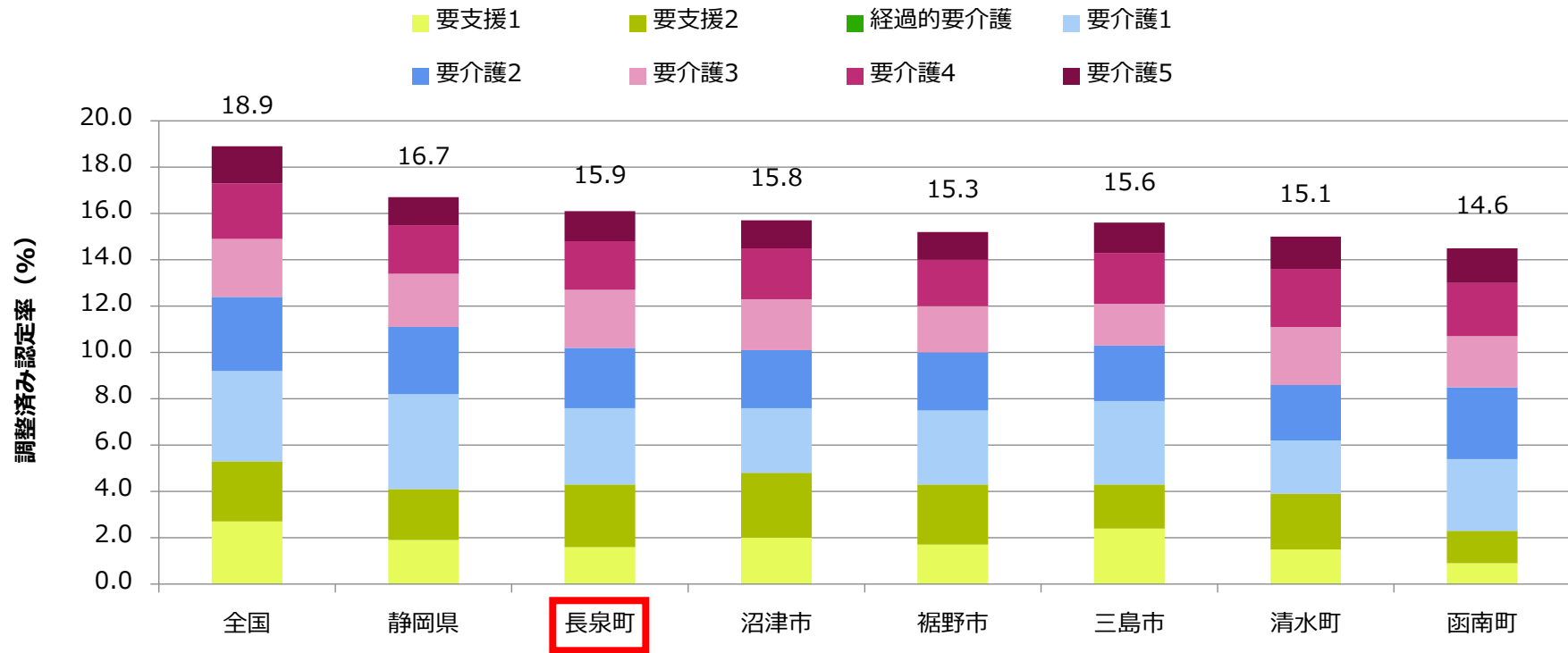


（時点）令和4年(2022年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3,4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

全国・静岡県・近隣市町と比較すると、長泉町の認定率は全国・県よりも低いですが、近隣市町では沼津市に次いで高くなっています。後期高齢者の割合が近隣市町と比べて高いことが影響していると考えられます。認定率の低い函南町と比較すると、函南町は要支援1から要介護1の軽度認定率が低く、近隣市町の中でも一番低い状況にあります。

調整済み認定率（要介護度別）（令和3年(2021年)）



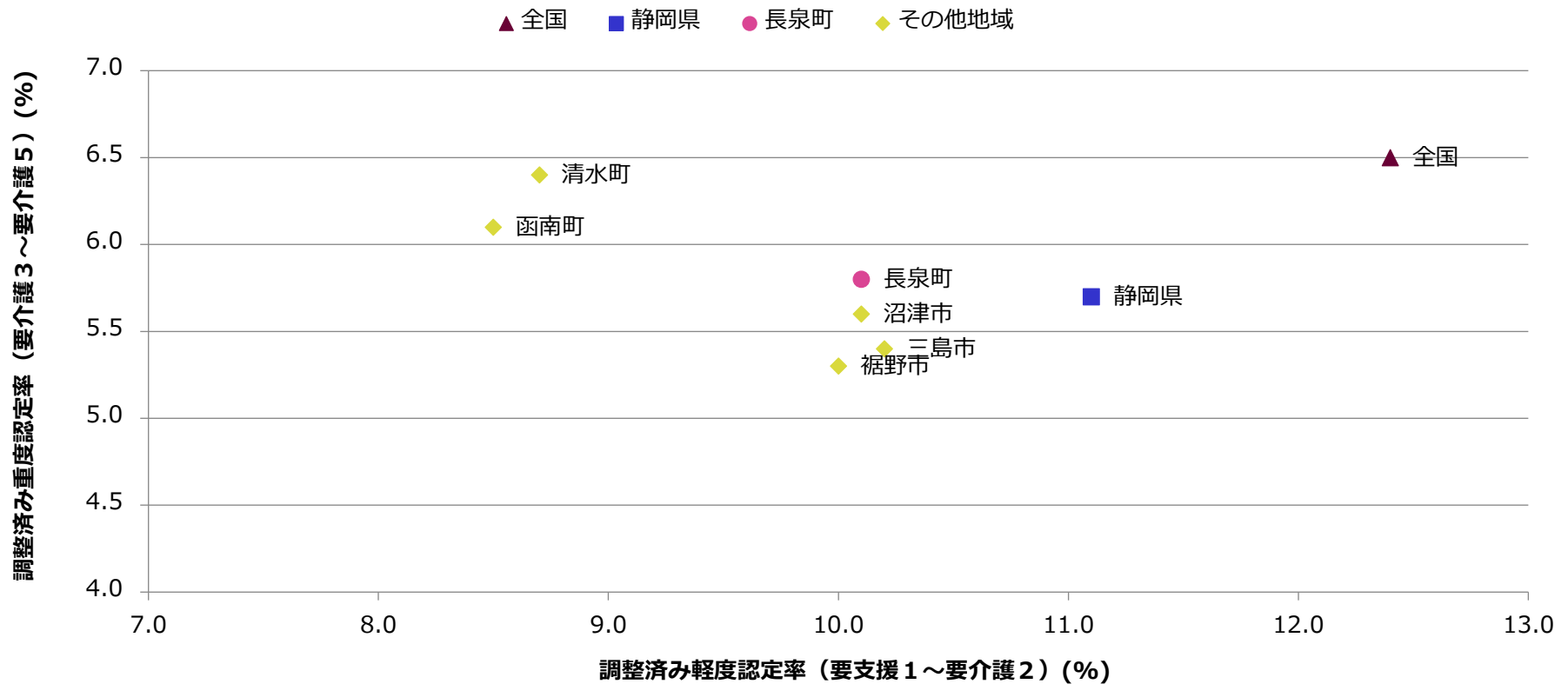
（時点）令和3年(2021年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

「調整済み認定率」とは、認定率の多寡に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率を表します。長泉町の調整済み認定率は、全国・県と比べると低いですが、近隣市町では一番高くなっています。また、後期高齢者の割合がほぼ同等である清水町と比較しても、0.8ポイント高くなっています。

要介護認定の申請者の中には、介護サービスを使う予定はないが、いずれ困った時に使えるよう念のため認定を持っておくというケースも見受けられます。このようなケースを減らしていくために、受付窓口での丁寧な説明が求められます。

調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布（令和3年(2021年)）

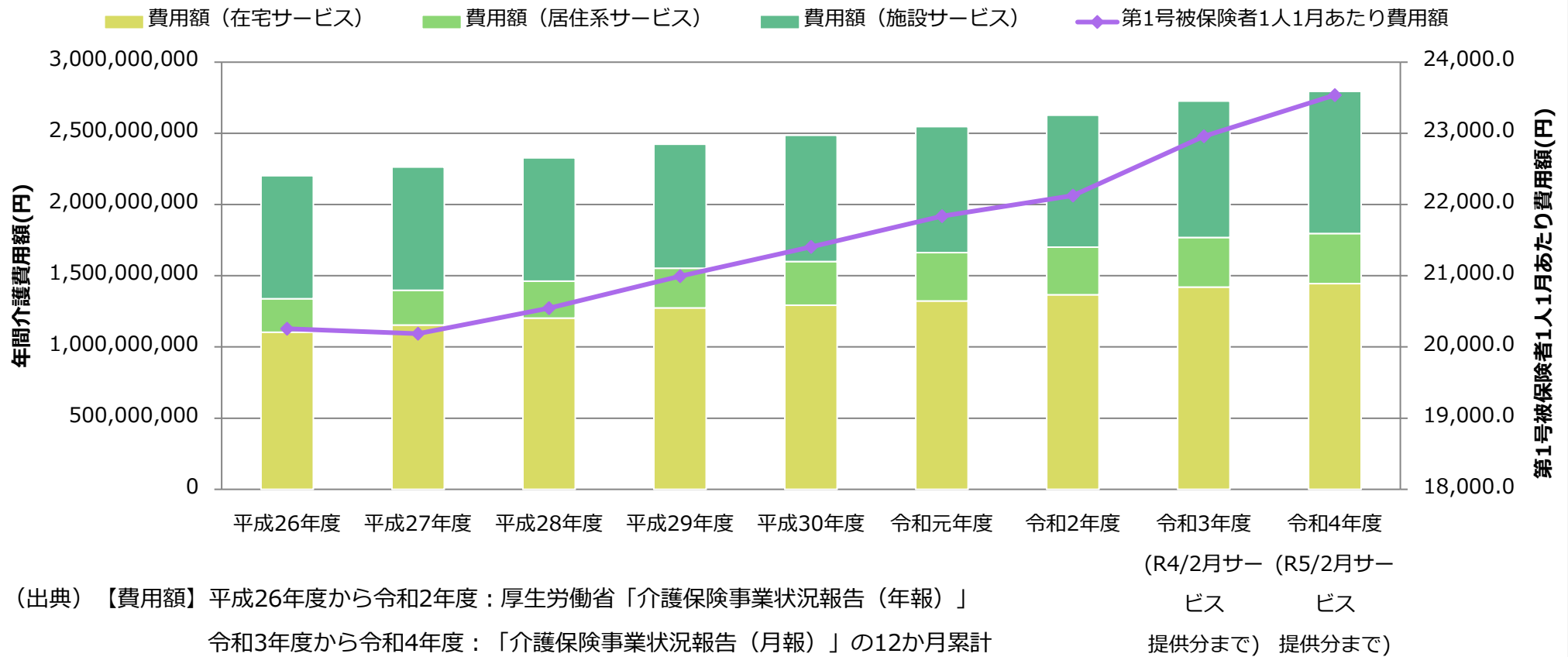


(時点) 令和3年(2021年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

要支援1から要介護2までの調整済み軽度認定率は、長泉町は10.1%であり、近隣市町では三島市が10.2%と一番高くなっています。要介護3から要介護5までの調整済み重度認定率は、長泉町は5.8%であり、近隣市町では清水町が6.4%と一番高くなっています。後期高齢者の割合がほぼ同等である清水町と比較すると、認定率は長泉町の方が高いですが、清水町は重度認定率が高く軽度認定率が低くなっています。今後は、この軽度認定率の人たちが重度化しないように努めていく必要があります。

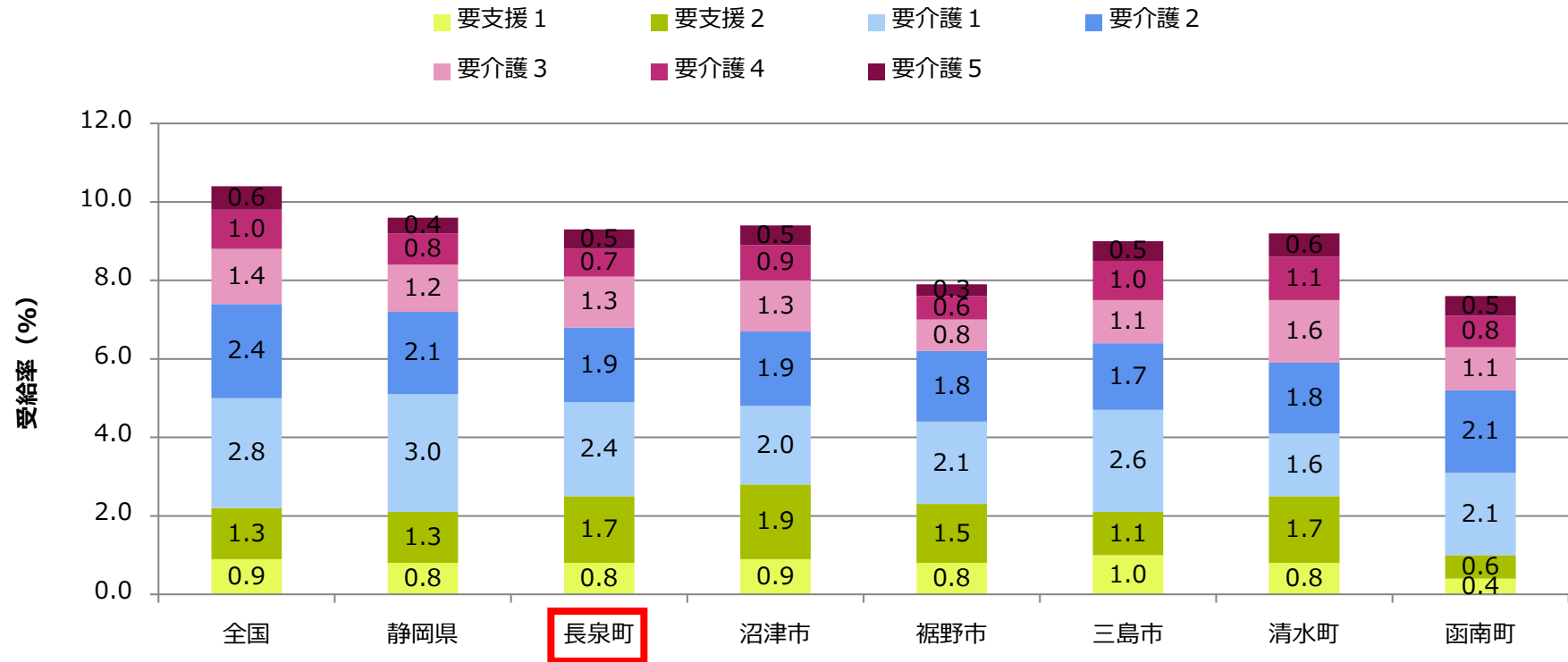
長泉町の介護費用額の推移



（出典）【費用額】平成26年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」
 令和3年度から令和4年度：「介護保険事業状況報告（月報）」の12か月累計
 【第1号被保険者1人あたり費用額】「介護保険事業状況報告（年報）」（または直近月までの月報累計）における費用額を「介護保険事業状況報告月報）」における第1号被保険者数の各月累計で除して算出

棒グラフは「施設サービス・居住系サービス・在宅サービス別の介護費用額」、折れ線グラフは「第1号被保険者1人1月あたりの介護費用額」を表しています。介護費用額は年々増加しており、内訳別にみても、すべてのサービスの費用が伸びています。一人あたりの費用額は平成27年度から上昇傾向にあります。高齢化の進展に伴い認定率が上昇し、サービスの利用者が増えていることで、年間介護費用額も上昇していると考えられます。

受給率（在宅サービス）（要介護度別）（令和4年(2022年)）

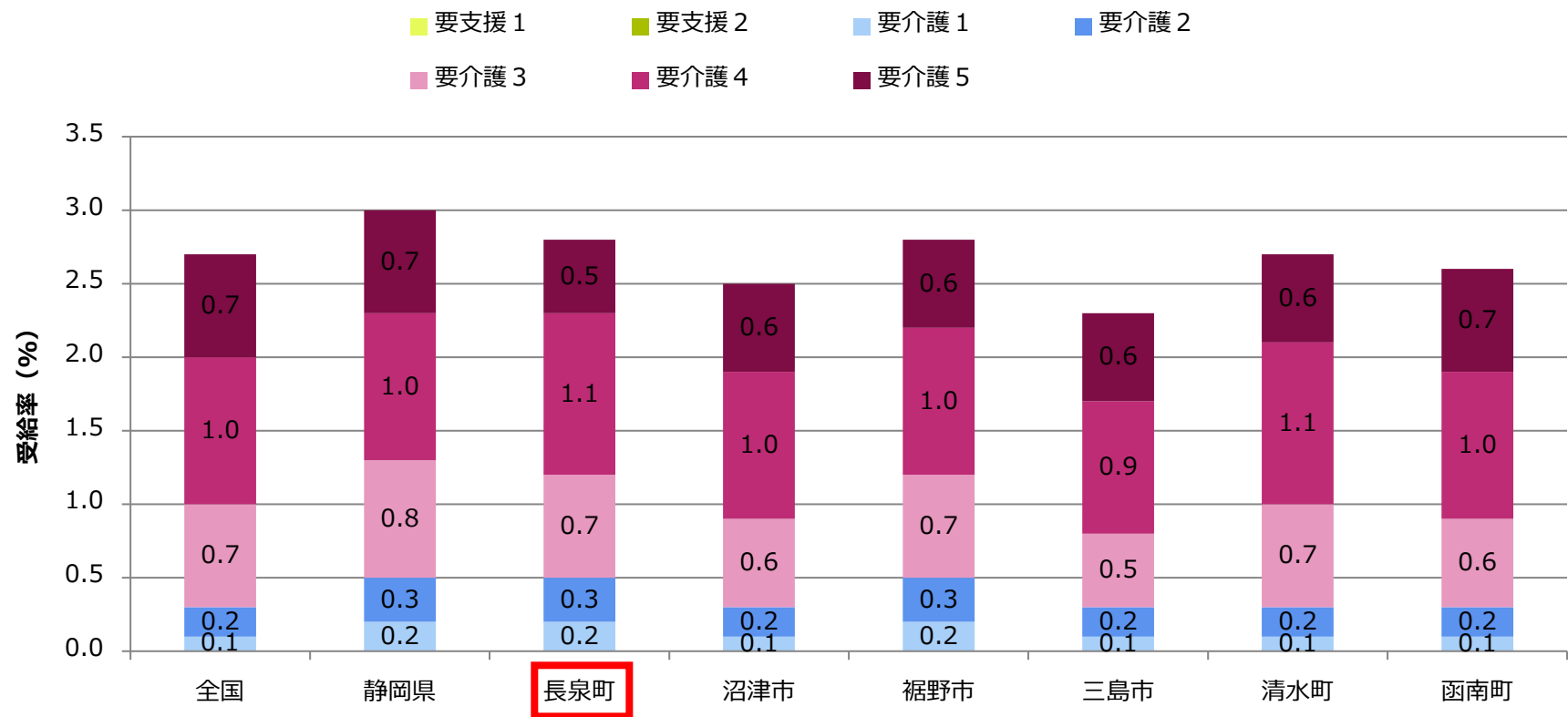


（時点）令和4年(2022年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3,4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

第1号被保険者に占める在宅サービス（訪問介護、通所介護など）の受給者数の割合を表しています。長泉町の受給率は全国・県平均よりも低いですが、近隣市町では沼津市に次いで高くなっています。長泉町は沼津市、裾野市、三島市、清水町に隣接しており、町内に限らず町外の在宅サービスの事業所も使いやすい立地となっていることから、サービスを利用しやすい環境にあることが要因の一つと考えられます。

受給率（施設サービス）（要介護度別）（令和4年(2022年)）

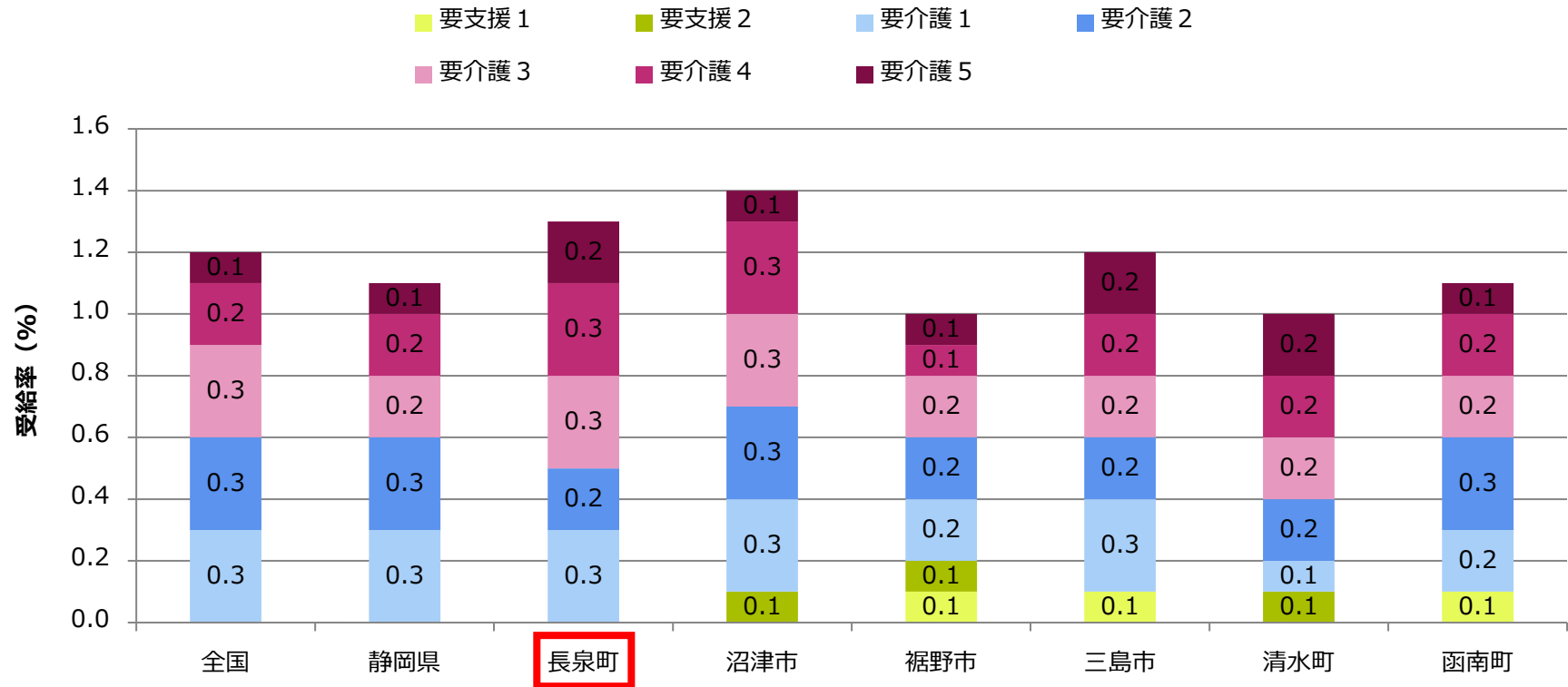


（時点）令和4年(2022年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3,4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

第1号被保険者に占める施設サービス（介護老人福祉施設、介護老人保健施設など）の受給者数を表しています。長泉町の受給率は全国平均より高く、静岡県平均より低くなっています。近隣市町と比較すると裾野市と並んで最も高く、施設サービスを利用している方の割合が高いと言えます。長泉町には介護老人福祉施設は2か所、介護老人保健施設は1か所あり、要介護4・5の受給者が半分以上を占めています。

受給率（居住系サービス）（要介護度別）（令和4年(2022年)）

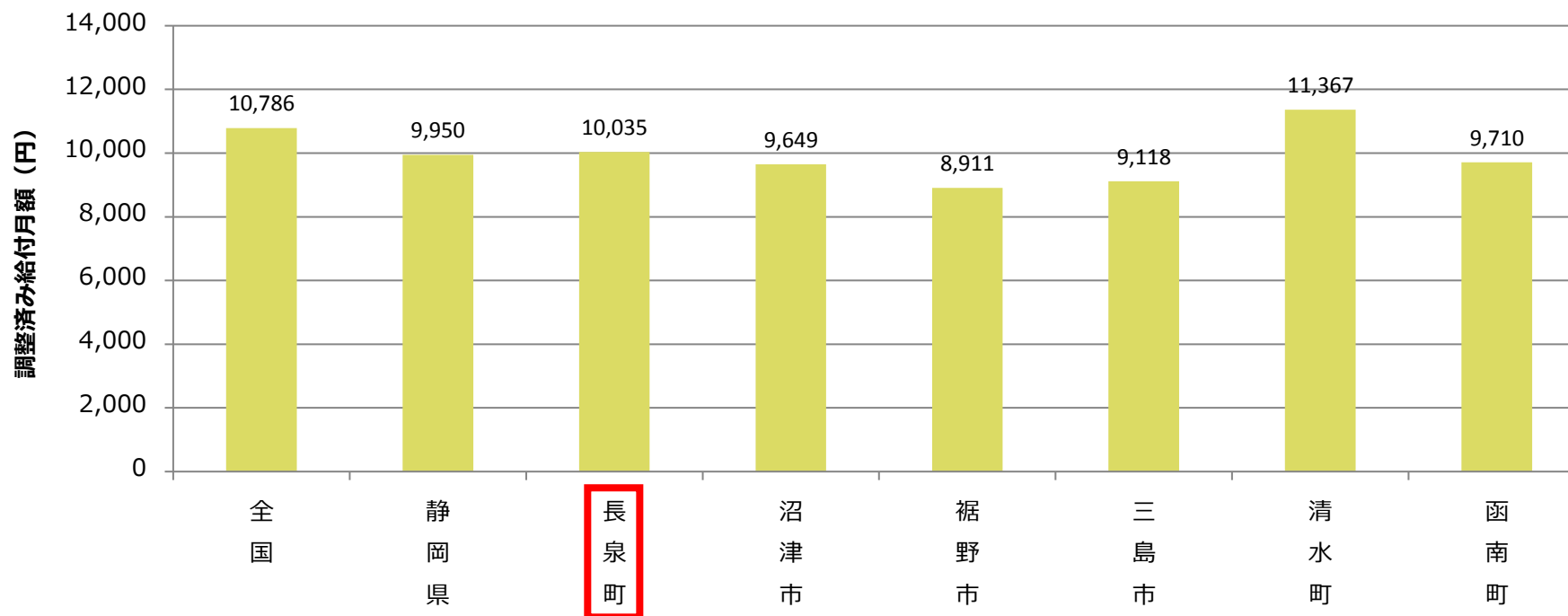


(時点) 令和4年(2022年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3,4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

第1号被保険者に占める居住系サービス（認知症対応型共同生活介護、特定施設入所者生活介護など）の受給者数の割合を表しています。長泉町の受給率は全国・県平均より高くなっており、近隣市町では沼津市に次いで高くなっています。施設の数などが自治体によって違うことが影響していますが、長泉町では適切な施設整備が行われており、認知症対応型共同生活介護が4か所、特定施設入居者生活介護が2か所と選択肢が充実していることが要因と考えられます。

調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス）（令和2年(2020年)）

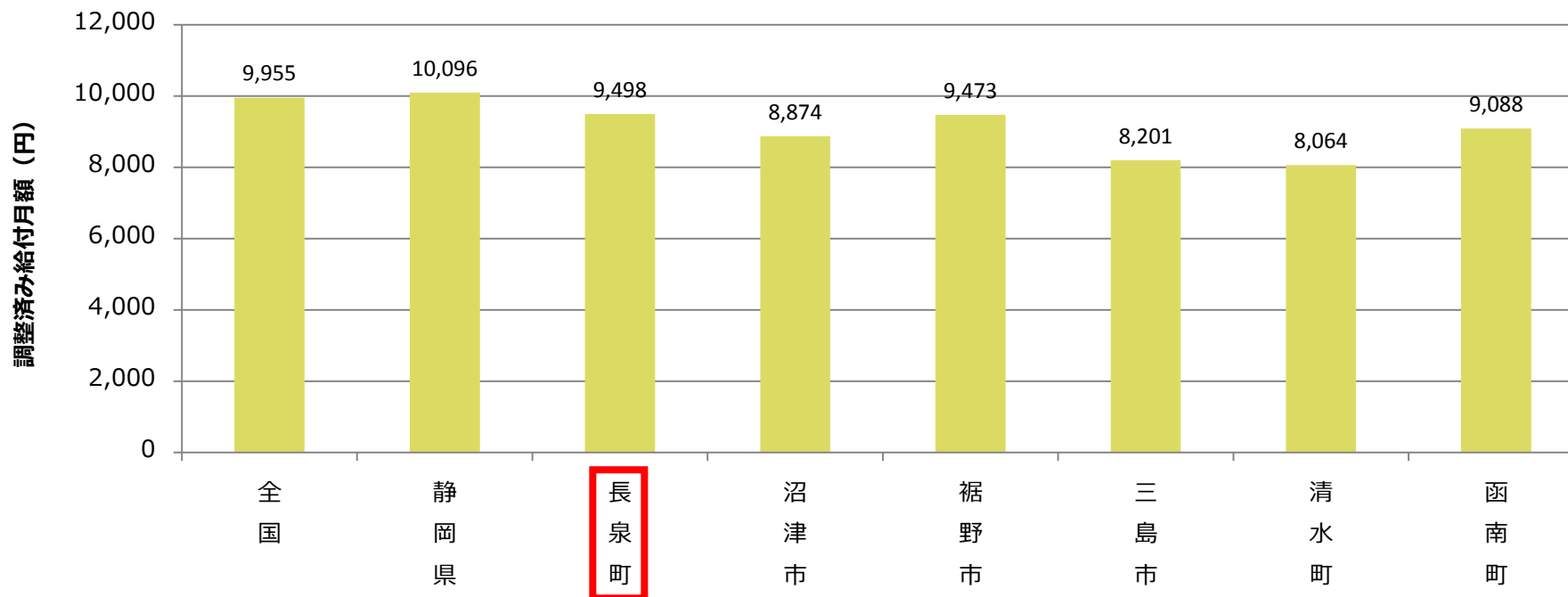


(時点) 令和2年(2020年)

(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

「調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額」とは、給付費の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」と「地域区分別単価」の影響を除外した給付月額を意味します。長泉町の在宅サービスの給付月額は全国平均と比較すると低いですが、県平均より高く、近隣市町でも清水町に次いで高くなっています。在宅サービスの利用については、ケアプランにおいて適切なサービス利用がされているか、ケアプラン点検などを通して保険者として確認を行い、過剰利用になっていないか確認をしていくことも必要です。

調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（施設および居住系サービス）（令和2年 （2020年））



（時点）令和2年(2020年)

（出典）「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

長泉町の施設サービスの給付月額は、全国・県平均より低いですが、近隣市町の中では一番高くなっています。一番低い清水町とは 1,434 円の差があります。施設・居住系サービスの受給率が高く、利用者が多いことが影響していると言えます。在宅サービスも施設・居住系サービスも利用されているということは、サービスが選択できるほど充実していると言えますが、サービスが過剰になっている可能性も視野に入れ、適切なサービスが行われるよう、ケアプラン点検の実施等により適正化に努めていく必要があります。住み慣れた地域で暮らし続けるために、在宅サービスの充実、施設および居住系サービスの質の向上に取り組むことでより良いサービスの充実を図っていく必要があります。